

越後津南 太田新田ボルダー Ver.1.00

平成 30 年 7 月 1 日 RCT/K

新潟県はクライミングエリア情報が非常に少ない地域である。多分、開拓されているエリアは幾つかあるのだろうが、豪雪地帯で年の半分は利用不可能となることから、利用者が少なくプライベートエリア同然となってしまう、公開はされていないのかもしれない。

そんな地域ではあるが、ちょっと探せば開拓できそうな岩場やボルダーはすぐ見つかるもので、ここで紹介する津南太田新田ボルダーもその一つである。

発見後 10 年以上になるが、開拓は遅々として進まず、毎年 2 から 3 回行く程度で毎回掃除から始まるため、各ボルダーの設定課題に対して十分なトライができたとは言えない。今後、まだまだ新課題が追加できる余地は十分にあり、手を付けていないボルダーも沢山転がっているが、取り敢えずまとまったエリアとなり一区切りついたので紹介することとした。今後新たに追加課題ができれば随時更新する予定である。

場所は豪雪地帯として有名な秋山郷の入口である太田新田地区にあり、近くの見玉地区には、この地方ではそこそこの知れた「見玉不動尊」がある。

ボルダーの位置は、幹線の国道 405 号沿いではなく、ニューグリーンピア津南側から続く林道沿いにある。

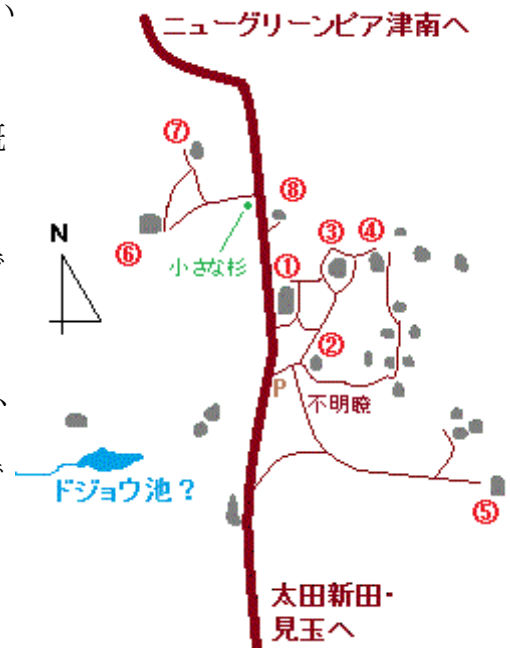
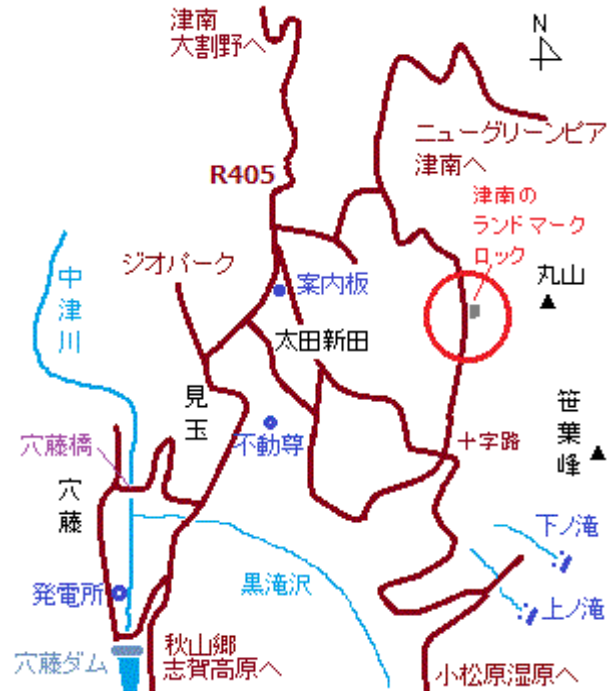
アクセスは津南町大割野から国道を入るのが最も分かりやすく、太田新田地区に入ったら集落内を笹葉峰側の林道に抜けていく。きれいに整備された林道で、「津南のランドマークロック」が道路沿いの山側にあり、そのすぐ南側に駐車スペースがある。

各アプローチについては、地図を参照してもらいたい。⑤と⑥のボルダーのアプローチは、夏季には草が生い茂っていることが多く、非常に分かり難い⑤は最初の草藪を抜ければ後は藪は無い。また⑥と⑦は降り口には小さな杉の木があり目印となっている。

大きさは大きいものでも 4m 程度、岩質は安山岩で、概ねしっかりしているが、一部板状摂理となっているボルダーもあり、剥離には十分注意する必要がある。

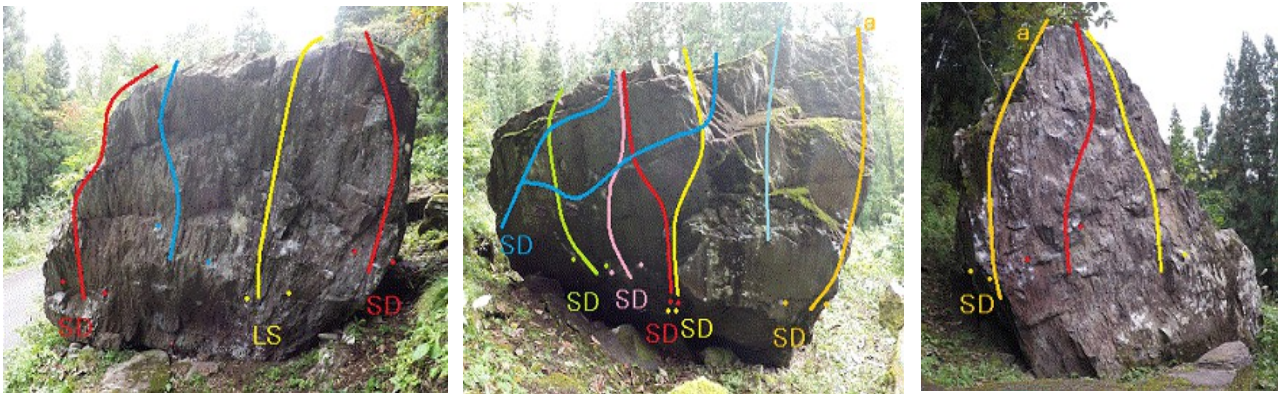
シーズンは雪の消える 4 月末から 11 月初旬ぐらいまでであるが、遅くまで雪が残ったり、秋は時雨が降り続いたり判断が難しい。その反面、梅雨入りしても東京付近より降雨量が大幅に少なく、ボルダーが長期間乾いていたり、夏は意外と涼しかったりする。しかし草が伸びて虫が多かったりする。スプレー、蚊取り線香、鎌等は必携である。

現在①から⑦までのボルダーがトライされており、⑧と他幾つかのボルダーは掃除が少しされたがトライはされていない。もし興味関心があつていられる場合は、全体的に整備が不十分なボルダーが多いので、それを念頭に行ってもらいたい。



《課題紹介》

①津南のランドマークロック



左:南面 中央:東面 右:北面

林道の直ぐ脇にあり、アクセス時の目印であり、このボルダーエリアの象徴的存在である。北、東、南面に課題があり、未解決の課題も幾つかある。

なお、発見後の整備時に北面下には多量のガラス瓶の割れた瓦礫が捨ててあり、危険なものを回収したが、回収しきれないものを横に除けたり、少し埋めるような形で処理してある。一応危険はないと思われるが、トライの際には必ずクラッシュパッドを敷いて怪我のないようにしてもらいたい。

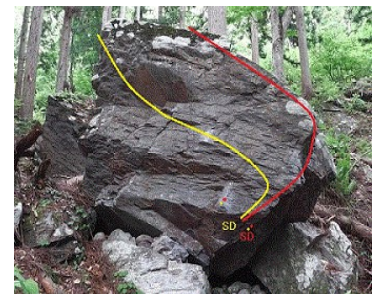
岩の上にボルトが埋めてあり、ボルダーの掃除用であるが、TRで使用してもらっても構わない。

課題としては、南面の青(課題名:ビックリ箱 SDは未解決)、黄(課題名:朴葉焼き SDは未解決)、東面の黄緑(課題名:田植時)、ピンク(課題名:風薫る)、北面のオレンジ(課題名:竹の子狩り)、赤(課題名:つながっぺ)辺りが楽しめる。なお、東面の水色ラインのSDは未解決である。

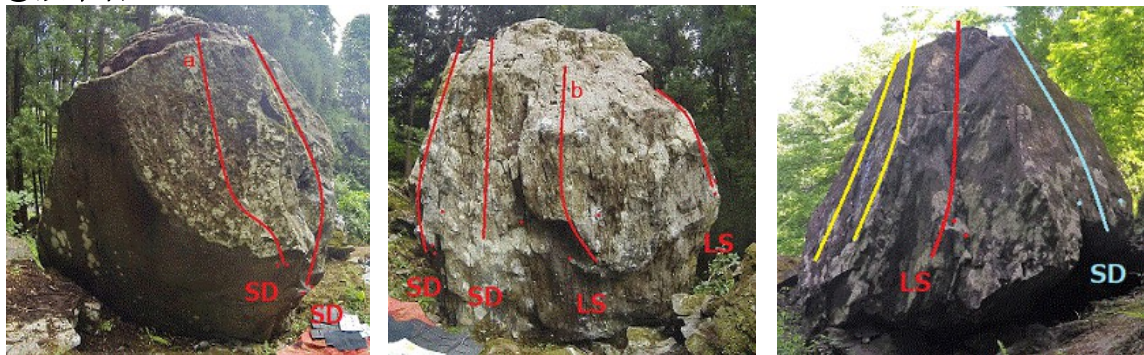
②筋斗雲ロック

駐車スペースから山側に入ったところにある小さな岩。限定があり、下の挟まった岩から下は使用しない。

赤(課題名:孫悟空)より黄色ライン(課題名:孫御飯)の方が難しい。



③鉄平岩

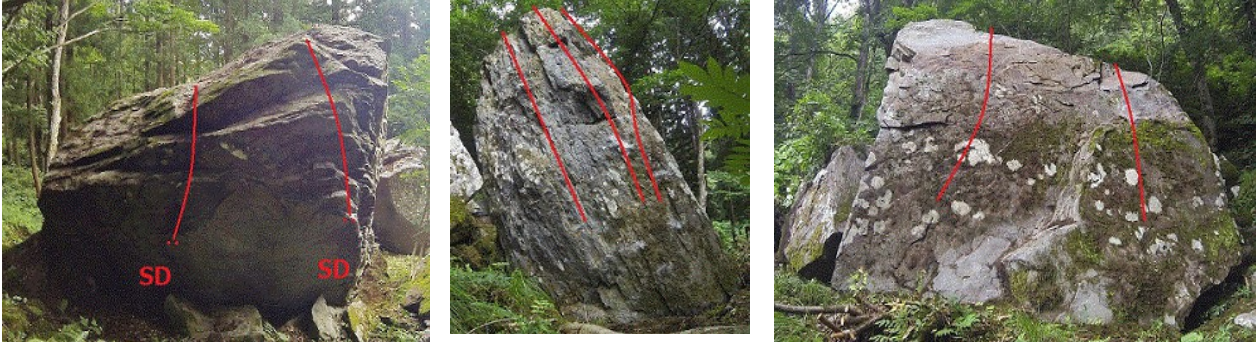


左:東面 中央:北面 右:南西面

ランドマークロックから少し登った所にある岩。岩自体に板状摂理は無いが、周りに鉄平石が転がっている。岩上に掃除時の降られ止め用としてのボルト1本あり。

課題としては、東面のaライン(課題名:クォータームーン)と北面のbライン(課題名:鉄平君)が楽しめる。bラインの右のハング直上は未解決である。

④上の鉄平岩



上左:東面 上中央:北面 上右:西面 左:南面



鉄平岩の直ぐ上にある岩。周囲四面に易しい課題が何本かある。
③同様上にボルト1本あるが、浅打ちなのでTRに使用しないこと。

⑤クラック岩

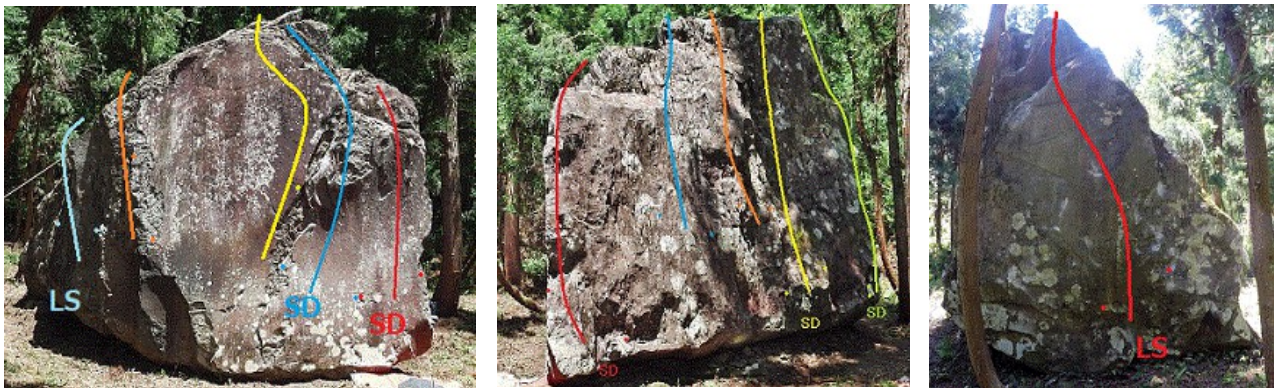


左:西面 右:南面

少し山を登って行ったところの植林帯の中にある、きれいなクラックが入った岩。
各課題はそこそこ楽しめる。

未解決課題として、クラック(課題名:ザ・クラック)のSDやその左右のフェイスのSDトライが挙げられる。

⑥シエスタロック



左:西面 中央:南面 右:東面

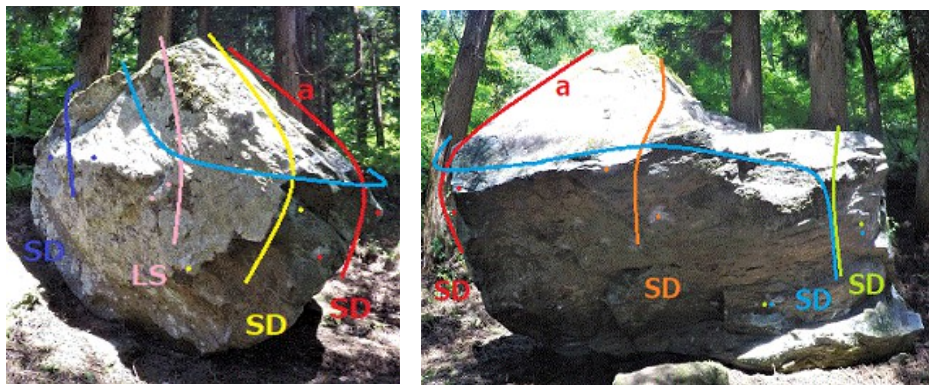
林道から下った平らな植林帯の中に、大きなボルダーが1つだけ転がっている。

課題の本数は多いが、被りがなく、殆どが出だしが核心であり、面白いのは東面の赤ライン(課題名:昼飯前 少し脆いので注意。トライ中に2回キーホールドが欠け、最初使用しなかったカンテよりの大きな縦ホールドを使用して解決した)ぐらいであるが、課題の設定の仕方ですら面白いラインができるかもしれない。

西面の黄色ラインはホールドより身体を左にして登る。

今後の課題としては、西面のオレンジと黄色ラインのSDトライが考えられる。

⑦ウサギ岩



左:北面 右:西面

⑥に下る途中、右に見える小さな岩。岩の下にウサギの糞が沢山あった。

課題としては、青ライン(課題名:ピーターラビット)がまずまず楽しめる。

西面のオレンジラインは左手リップスタートだが、アンダーホールドスタートは未解決である。

⑧無名岩

未トライ。もう少し掃除が必要。